

リーダーシップサークルプロフィール(LCP)



46万人以上

の世界中の
リーダーがLCP
を実施済

300万人以上

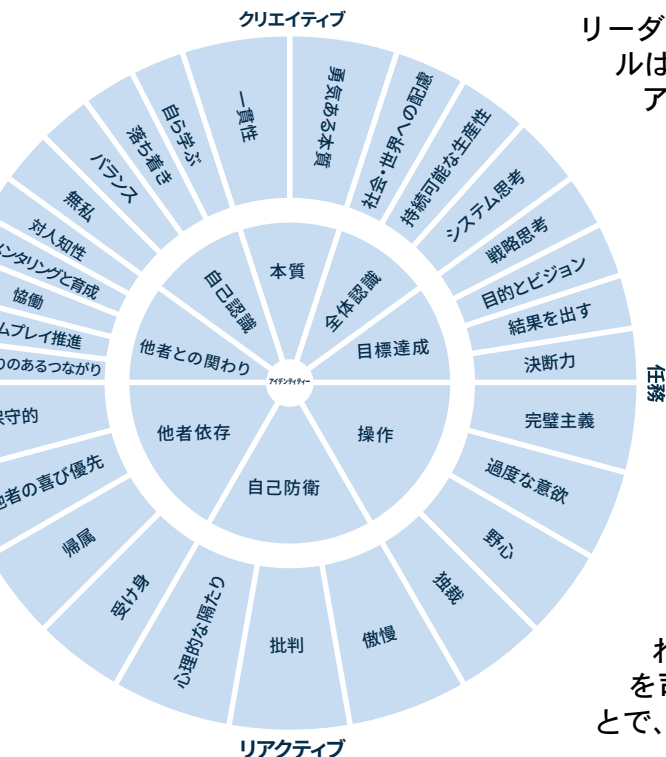
がフィードバ
ック提供者と
して参加

4.7億件

のデータポイントを
保持

45%

のフォーチュン100企業が
(内38%のフォーチュン50
企業)
LCPを活用



リーダーシップ・サークル・プロフィール™ (LCP) の基礎となるモデルは多様な科学的研究の成果を反映し取り込んでいます。LCPは、アセスメント手法において、最先端かつグローバルスタンダードであり続けるために、進化を続けています。Institute for Psychological Research and Application (IPRA 心理学研究応用機関)は、厳密に統計学的分析および方法論分析を行った結果、以下のように結論づけています。

「リーダーシップ・サークル・プロフィールは内部整合性があり、リーダーシップ開発におけるアセスメントとして有効である。リーダーシップ・サークル・プロフィールにおける、サイコメトリクスの特性は、強力です。」

LCPは、「私の行動やマインドセットは、自社の目的やビジネスパフォーマンスにとって、どのようなプラス効果、マイナス効果を与えているだろうか？」というような詳細を一目に可視化できるスナップショットをご提供しています。LCPは2つの主要なリーダーシップ領域（クリエイティブ・コンピテンシーとリアクティブ傾向）を計測できる唯一無二の手法です。これは、行動、その人の持つ信念、先入観など、私達の行動の大部分を司る思考の習慣を測定します。リーダーがこれらの洞察を得ることで、革新的な変化に高いレバレッジをかけることができます。

20年分のデータに基づく統計的モデリング

リーダーシップ・サークル・プロフィールのスコアは、効果的なリーダーシップの発現度と実際のビジネスパフォーマンスにおいて高い相関関係があります。

多くの多国籍企業が同様の変容を推進中

書籍『Scaling Leadership』とリーダーシップ・サークルのアプローチは、リーダー各自の段階的な能力の変化によって、また、チームとして積極的な変化を推進し並外れた成果を挙げるために強力な道筋となります。組織として取り組むことで、リアクティブで保身的、かつ言い訳ばかりのリーダーが、クリエイティブで目的意識が高く、結果に集中できるリーダーに変化します。各社のCEOとそのチームに、この書籍とアプローチを強く推奨します。

シンジェンタグループCEO エリック・フライワルド

業績との 相関関係	業績 指標	効果的な リーダーシップ の発現度
業績指標	1	0.61
効果的なリーダーシップの発現度	0.61	1
他者との関わり	0.50	0.85
自己認識	0.48	0.76
本質	0.50	0.78
全体認識	0.57	0.84
目標達成	0.61	0.91
操作	-0.21	-0.41
自己防衛	-0.31	-0.56
他者依存	-0.40	-0.63